

筑後川上流総合管理所渇水対策本部の解散について

筑後川上流総合管理所は、令和4年7月12日に設置した「筑後川上流総合管理所渇水対策本部」を、8月25日（木）17時をもって解散しました。

<渇水対策本部の解散理由>

- ① 水資源機構が管理する三ダム（江川ダム・寺内ダム・小石原川ダム）の貯水量が、降雨により一定程度回復したため。

【8月25日（木）午前0時現在 三ダム（江川、寺内、小石原川の各ダム）】

有効貯水量（貯水率）	うち農業用水分貯水量（貯水率）
42,060千m ³ （61.9%）	12,445.4千m ³ （84.8%）

- ② 農業用水の利水者である両筑土地改良区においては、これまで自主節水に努めていただくとともに、降雨により貯水量が一定程度回復し、今後の水需要等の見通しが立ったため、8月25日（木）に干ばつ対策特別委員会を解散したため。

令和4年8月26日

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所



配布先

国土交通省九州記者会
九州建設専門記者クラブ
西日本新聞朝倉支局
読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局
朝日新聞太宰府支局



令和4年5月1日
水資源機構は前身の
水資源開発公団の
設立から
60年を迎えました。

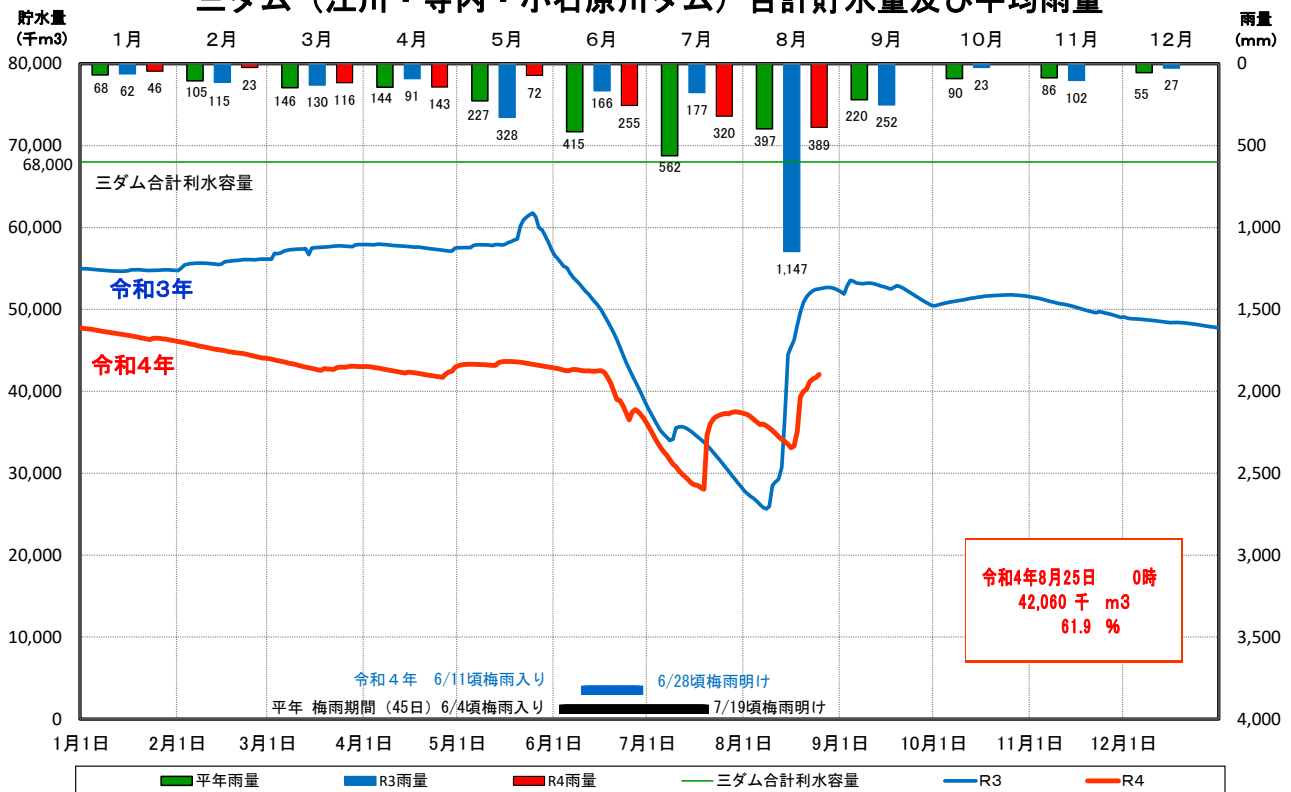
問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所 総務課長 いしばし 石橋
管理課長 やまもと 山本

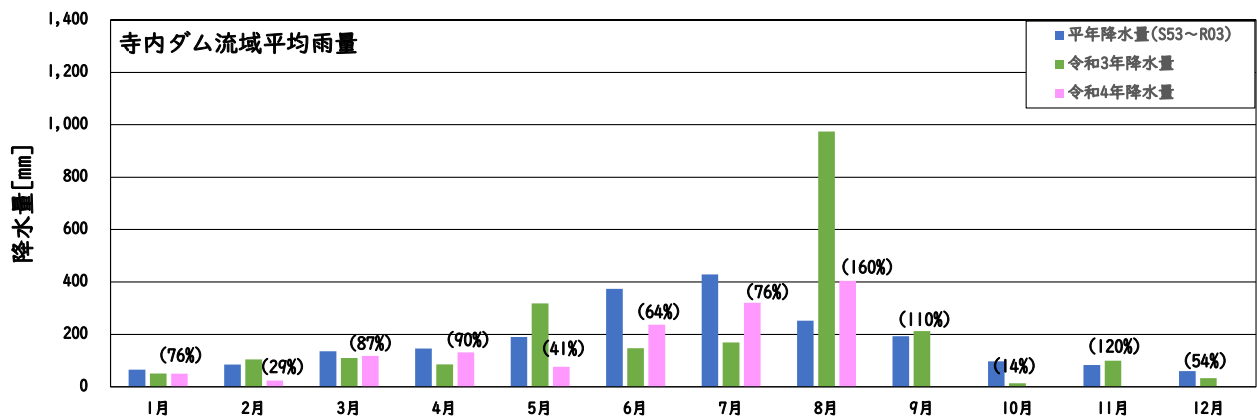
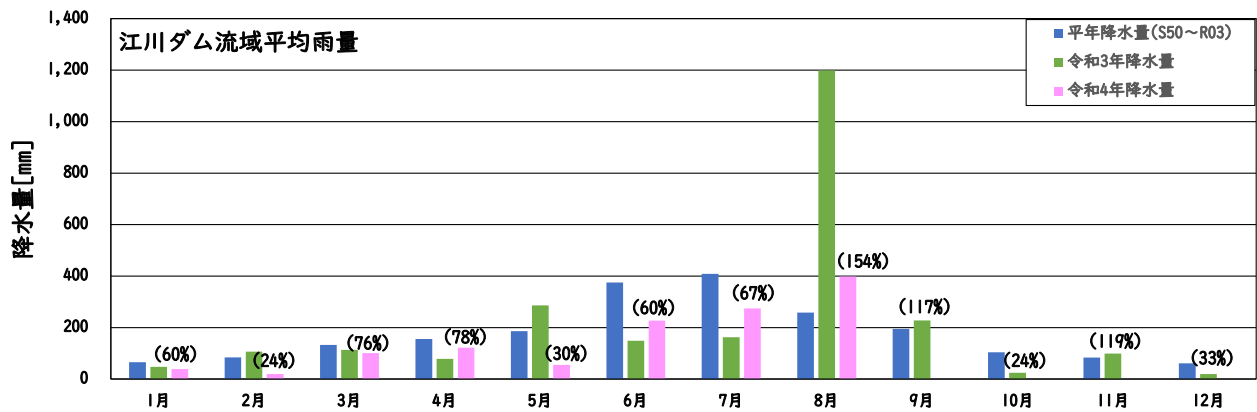
住所：福岡県朝倉市江川1660-67

電話：0946（25）0113

三ダム（江川・寺内・小石原川ダム）合計貯水量及び平均雨量



※小石原川ダムは、令和元年12月14日から試験湛水を開始し、令和3年10月16日から運用。
 なお、試験湛水期間のうち令和3年5月20日から令和3年8月5日にかけて、洪水時最高水位(EL353.0m)から最低水位(EL279.3m)まで約1m/日の速度で水位を低下させ、ダム堤体及び貯水池斜面の安全確認を行った。



※1 小石原川ダム流域は江川ダム流域に含まれるため、平均降水量の比較は省略させていただきます。

※2 ()書きは令和3年9月から令和4年8月の各月の降水量の年平均比を示しています。

※3 令和4年の降水量は、8月25日0時までのデータを示しています。

三ダム(江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム)の貯水池状況

<江川ダム>

令和4年 8月 25日 0時時点

貯水量 17,480 千 m^3 貯水率 72.8 % 貯水位 標高 216.63 m



7月19日(貯水率66.8%)の貯水池



8月25日(貯水率73.3%)の貯水池

<寺内ダム>

令和4年 8月 25日 0時時点

貯水量 9,095 千 m^3 貯水率 100.0 % 貯水位 標高 121.66 m



7月19日(貯水率38.0%)の貯水池



8月25日(貯水率100.0%)の貯水池

<小石原川ダム>

令和4年8月25日 0時時点

貯水量 15,580 千 m^3 貯水率 44.5 % 貯水位 標高 326.12 m



7月19日(貯水率24.5%)の貯水池



8月25日(貯水率44.9%)の貯水池

※4 7月19日は三ダム(江川ダム、寺内ダム、小石原川ダム)の合計貯水量が一番小さい日です。